



平成 28 年 8 月 26 日

お盆も過ぎても残暑が厳しい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？先日ふと医学資料を見ていたら、こんな記事がありました。

新規に発売される薬の一覧のページでしたが、軒並み薬価が高いのです。確かに新薬というのは既存の治療薬市場に参入するわけですから、それなりの薬効と、それなりの研究費がかかっているわけですが。それでも高い！高すぎます！

今年の春先に発売されたオプジーボという抗がん剤でも問題になりましたね。この抗がん剤、1人あたりの年間使用額が3500万円、日本全体で1兆7500億円もします。高額医療費補助の適応になるので、自己負担は月に8万円、年間で約100万で、残りの3400万円は皆様の税金から補われます。

メディカル朝日 2016年8月号



薬剤名	効能	薬価
エフィエント錠	抗血小板薬	1,150円
フィコンバ錠	抗てんかん薬	310円
レメロン錠	抗うつ薬	210円
ヌーカラ皮下注	気管支喘息治療薬	17万5,684円
タグリッソ錠	肺癌治療薬	2万3,932円
オレンシア皮下注	関節リウマチ治療薬	2万8,233円
イムブルビカブチル	慢性リンパ性白血病治療薬	9,367円
カヌマ点滴静注液	ライノゾーム酸性リバーゼ欠損症治療剤	127万7,853円

図1 国民医療費・対国内総生産及び対国民所得比率の年次推移



ニボルマブ（抗PD-1抗体）の保険適応は、その薬価があまりにも高額であるため、保険診療自体の屋台骨を握るがしかねないという意見もあります。財務省の財政制度等審議会・財政制度分科会は2016年4月4日、社会保障に関する議論を行い、小野薬品工業のがん免疫療法薬、ニボルマブ（抗PD-1抗体）と医療保険財政の関係について意見を聞きました。ニボルマブ（抗PD-1抗体）をどうすべきという議論ではないことを前提に、新薬が次々に開発されることは患者にとっては福音ではありますが、非常に高額であることも現実問題としてあらためて認識したものです。今回は高額な新薬のコストをどう考えたらよいかという問題提起をしましたので、これが議論のスタートで、今後、高額な新薬の薬価の在り方について検討を重ねていく姿勢を示しました。

今回、ニボルマブ（抗PD-1抗体）を非小細胞肺癌に用いた際の薬剤費が「年間で1兆7500億円」上る可能性があるとする試算を提示しました。その対策として、1. 費用対効果を考慮するなどの適正薬価を考慮する。2. 有効例に対し必要最小限度に使用するなどの適正使用を考える。3. 投与年齢制限などの総量規制を設ける、等が提示されました。

治せる病気は最善を尽くして治したい。しかしその治療費は国民全体で税金と保険料で支え合っている以上、治療費が増えるほど税金や保険料の負担は当然増えます。右下のグラフにあるように、私が生まれた昭和48年度の国民医療費は5兆円だったのが、今は40兆円を超えてます。このまま右肩上がりで医療費が増大していけば100兆円を超える日はそう遠くはないでしょう。

ですが、出生率の低下と停滞気味の国民総生産で、とてもじゃないですが 100 兆円の医療費は補えません。もちろん年金費用も年々増大する一方で、これらの社会保障費を私の息子達を含めた次の世代に重い負担をかけるのは非常に心が痛みます。三和皮フ科は、なるべく後発薬品を使用し、なるべく患者様負担を減らす治療法で日夜努力しております。もちろん通院期間も短くさっと治る治療を心がけております。この記事を見て、より患者様のために、未来の日本を背負っていく子供達の為にも頑張ろうと思った次第でした。

Happy Birthday

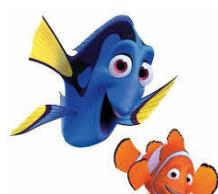
8月18日に理事長が72歳の誕生日を迎えられました。
スタッフ皆でお祝いしました(^^)/



水槽コーナー



病院に期間限定で新しい水槽が増えました。
映画に出てくるニモやドリーもいるので、
見に来てね！！



海水魚



医院：各務原市那加桜町 2 - 368

Tel 383 - 6800

自宅：各務原市三井北町 1 - 171

Tel 382 - 1437

三和ゆき後援会事務所（三和皮フ科北） Tel 371 - 5558

三和皮フ科HP : <http://miwahifuka.org/>